

【記入例】

採 用 者 給 料 査 定 書

太枠で囲んだところのみ記入する

職員番号は記入しない

年齢は記入しない

高等学校から記入、  
大学は専攻学科まで記入

留年、浪人の期間も  
職歴欄（1行目）に  
入れる

アルバイトか正式  
かを記入する

臨時的任用の場合は  
職名を記入する

非常勤講師で同じ期  
間に2校以上勤務し  
た場合

非常勤講師の場合は  
1週間あたりの勤務  
時間数を記入する

番号	所属コード 学 校 名	職 名	職 員 番 号 氏 名
※	※	※	☆→  和歌山 太郎 印

戸籍上の氏名を正確に記入し、鮮明に押印する

正規の修学年数を記入する

→ 生年月日	(昭和)・平成 47年 8月 13日生 歳
--------	-----------------------

修 学 歴	学校名（専攻学科）	卒業・修了年月日	修学年数	学校名（専攻学科）	卒業・修了年月日	修学年数
修 学 歴	〇〇高等学校 普通科	H 3 年 3 月 卒・修	3 年		年 月 卒・修	年
	〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H 8 年 3 月 卒・修	4 年		年 月 卒・修	年

職 歴	勤務場所（職務内容）	期 間	勤続年数
職 歴	浪人	H 3 年 4 月～H 4 年 3 月	1 年 月
	〇〇〇株式会社（正式）	8 年 4 月～ 9 年 4 月	1 年 1 月
	〇〇小学校（講師）	9 年 5 月～ 9 年 7 月	年 3 月
	在家庭	9 年 8 月～ 9 年 8 月	年 1 月
	〇〇小学校（講師）	9 年 9 月～ 1 0 年 3 月	年 7 月
	〇〇高等学校（非常勤講師週 2 h）	1 0 年 4 月～ 1 2 年 3 月	2 年 月
	〇〇高等学校（非常勤講師週 6 h）	年 月～ 年 月	年 月
	〇〇高等学校（非常勤講師週 8 h）	1 2 年 4 月～ 1 3 年 3 月	1 年 月
	〇〇中学校（講師）	1 3 年 4 月～ 1 4 年 3 月	1 年 月
	在家庭	1 4 年 4 月～ 1 4 年 9 月	年 6 月
歴	〇〇中学校（講師）	1 4 年 1 0 月～ 1 7 年 3 月	2 年 6 月
	在家庭	1 7 年 4 月～ 3 1 年 3 月	14 年 月
	合 計		24 年 月

- 1, 卒業から現在まで切れることなく記入する。
- 2, 月の途中で採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 3, 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 4, 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。  
(別紙「採用者給料査定表の書き方」を参照)

★1枚に書ききれない場合は、2枚目、3枚目に続きを記入する。(合計の欄は、最終の合計のみ記入)